

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	美術館実技講座事業				開始年度	20年度	
基本目標	芸術文化の振興				終了年度	20年度	
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼	評価者	田中 隆吉
20年度決算	48	千円	21年度予算	77	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	1,150 千円		21年度人件費	1,165 千円		事業従事者数	0.16 人 0.16 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域の芸術文化の発信地として、文化活動の場を積極的に提供していく。
事業の内容	今回で第6期目。美術の興味のある初心者を対象に、油絵、水彩画、絵手紙、木版画の実技講座を毎月1回開講。最終月には、一年間の成果発表の場として生徒作品展を開催。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 受講者数	受講者数の増加で、芸術文化活動に親しんでもらい美術館利用を促す。
	2 講座数	受講者のニーズに合わせた、多種多様な講座を開講する。
	3 観覧者数	作品発表展に訪れた観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼
	3 自主講座数	実技講座卒業生が自主的に集まり制作活動を続ける

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	受講者数	目標値	40	40	40
		実績値	30	34	
		達成率	75.0%	85.0%	
	講座数	目標値	講座 4	4	4
		実績値	3	3	
		達成率	75.0%	75.0%	
	観覧者数	目標値	人 500	500	500
		実績値	427	347	
		達成率	85.4%	69.4%	
活動指標	広報活動数	目標値	回 3	3	3
		実績値	3	3	
		達成率	100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	回 2	2	2
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	自主講座数	目標値	講座 10	10	10
		実績値	6	8	
		達成率	60.0%	80.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	21年度で7期目を迎え自主グループが随分と増えている。希望者の実習室の確保が若干困難になってきていると共に、経費(講師謝礼)の節減で継続が困難になってきている。また、社会教育課内(中央公民館)で類似の事業(専科教室)が行われている。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	油絵教室は、2年連続で希望者が少数で開講に至らなかった。21年度より新規の切り絵教室を開講し、4講座を開講している。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	一年間の受講の後、自主グループ(21年度:9グループ)を結成して、実習室において制作活動を継続している。(施設使用料徴収)
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	作品発表展の展示作業・撤収は、受講生自ら行う。

事務事業名	美術館実技講座事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	-----------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	美術愛好者の底辺拡大については、大きく貢献してきている。予算的に講師を依頼できない状況なので、自主講座の充実を促したい。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持				
			縮小				
			廃止	○			
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎美術館がある町としての意義を高めるためにも続ける事業である。公民館講座と重複があれば検討すべきであり、美術館として特色ある講座にしていきたい。 ◎館長が講師を務めているものもあり、その他講師への謝礼増額も難しい。館長辞任によりどうすべきか、検討をしておくこと。
	コスト	現状維持	